

～【テレビ世代とスマホ世代】～

ウルトラマン、ウルトラセブン、仮面ライダー、巨人の星、エースをねらえ、マジンガーZ、……私たちが小中学生の頃に流行った漫画です。これにドリフターズの「8時だよ全員集合!」、沢村忠のキックボクシング、ジャイアント馬場、アントニオ猪木、デストロイヤーのプロレス等のバラエティー、スポーツ番組。1週間のテレビスケジュールが全て頭の中に入っていて、何曜日の何時から何の番組があるか暗記していました。というか、当時は民放が2つしかありませんでしたから。しかし何といってもウルトラマンをカラーテレビで初めて見たときの感動は今でも忘れられません。



この時期がテレビ時代の到来でした。学校から帰れば、カバンを投げ出し、テレビのスイッチを入れ、それから2、3時間はその場を動かず、番組に見入っていました。仕事を終え帰宅した父は「テレビばかり見ていないで、勉強せ。」と言いながら、チャンネルを切り替え、プロ野球や相撲を見る、そんな時代でした。「俺たちにテレビばかり見るなどいながら自分も見てるじゃないか。」とっていました。思うだけです。言葉にして言おうものなら、「親に口ごたえするな!」と怒鳴られること100%でしたから。

先日行われたSNSの実態調査によって1日3時間もスマホをする子ども達がたくさんいることが分かりました。3時間も!とあきれの前に、冷静に考えれば、自分たちも昔は1日3時間くらいテレビにくぎづけの時代があったわけで、スマホに3時間も費やすことそれ自体を「悪」とするわけにはいかないように思います。

ただテレビはテレビ局から家庭への一方向の情報、スマホは持ち主と他者との双方向の、しかも無数の相手との情報交換が可能になるという点で、大きく異なります。

勉強に活用したり、悩み事の相談に利用したり、友達と趣味を共有したり、スマホをそのように活用するのであれば、全く問題はありません。問題ないどころか、非常にすばらしい、思い出深い中学校生活を築き上げることができるかもしれません。10数年前、私もSNSのアプリを使って他県の社会科の先生と情報交換をしているうちに、参加者がいつの間にか増えて、結局数十名の「社会科研究サークル」が発足することになり、授業の工夫や

悩みについて、全国の社会科の先生方と意見を交わし、授業づくりが非常に充実した経験があります。

スマホに付随する大きな問題は使用時間ではなく、目的、内容です。

現在、本校でもSNSの「悪用」問題が起きつつあるようです。

SNSを使用している当事者以外の第三者を話題にし、その子の悪口で盛り上がったり、最近よく耳にするのが、写真加工アプリで本人の承諾を得ずに勝手に加工した写真を掲載してそれを見て喜ぶという、ちょっとこれは酷いと思う事件が、たくさん学校の起きています。

前任校でもこの種の事件が発生し、被害者のご両親が非常に立腹され、「学校はどんな指導を行っているんだ!」とお怒りの電話をいただきました。ご両親のお気持ちはよく理解できます。わが子がそんな目に遭ったらと思うと、それだけで怒りがこみ上げてきます。ただ、こうした問題に対して、学校は「情報モラル教育」等生徒全体に向けた取り組みを重ねていくことしかできません。これはあくまでSNSいじめの発生を防ぎ、被害者を出さないための「未然防止策」です。

SNSによるいじめ案件が発生したら、もちろん学校も関係した生徒一人一人に指導を行います。これもおそらく「モグラたたき」状態になっていくことでしょう。この事件が解決しても、次の事件、そのまた次事件が起こり、根絶することは非常に困難と思います。

根絶に向けて不可欠になってくるのが、保護者のご理解とご協力です。

契約者は親であり、利用料金を負担しているのも親であるということをしつかり子どもさんに理解させ、是々非々の強い姿勢で指導に臨んでいただきたいと思います。親の一言は教師の千言に優るのです。

スマホの利用内容、SNSの相手、範囲等、学校の職員では簡単に把握できません。こうした点をご家庭でしっかり把握していただき、定期的にスマホの発信記録をチェックしてください。また家庭でもスマホルールを作っていただき、それを厳守するようにご指導ください。ルールを破ろうとしたら、厳しい指導をお願いします。SNSいじめを根絶するにはこの方法より優れた方法を思いつくことはできません。私たちが家で何時間テレビを見ていようと、学校の先生からあの番組とあの番組は見てはいけない、という指導を受けたことはありません。あくまで家庭の問題ですから。

